

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現												
序	2		基本構想の理念・将来像		<p>タウンミーティングの説明では、「基本構想」は地方自治法第2条第4項の定めに従うもので松戸市においては平成9年12月16日に議決されたとありますが、素案では平成10年4月に策定されたとあります。また、素案には「基本構想」という語句に並べて「基本理念」という語句を用いております。これでは、12年前に策定された「基本構想」がどんなものであったのか捉え難く、抽象的な言葉の羅列になってしまいます。このたびの「後期基本計画」の土台というべき「基本構想」はこれであるとして平成10年4月に策定したものをそのまま表示したほうが市民には分かりやすく、強く訴えることができると考えます。</p>	基本構想については、全文を掲載しています	無													
序	4		前提となる社会的潮流		<p>素案には「松戸市の良さ・強み」として市民のニーズ調査の結果がありますが、他方で松戸市から他に居住地を移す人が相当数あることからするとその人々がなぜ「松戸市の良さ・強み」を捨ててまで他に移るのかを聴く必要があるのではないのでしょうか。私には、そちらのほうが大事であり、「後期基本計画」の策定に欠かせないものであると強く申し上げます。</p>	市外に移りたい理由のグラフを掲載します	有	<p>P.20 図表11-3 20～49歳の世代における市外に移りたい理由(主なもの)</p> <table border="1"> <caption>図表11-3 20～49歳の世代における市外に移りたい理由(主なもの)</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤や通学に不便だから</td> <td>34.6</td> </tr> <tr> <td>子育てや教育などの環境に満足できないから</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td>買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから</td> <td>27.2</td> </tr> <tr> <td>医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>治安や防犯などが心配だから</td> <td>23.5</td> </tr> </tbody> </table>	理由	割合 (%)	通勤や通学に不便だから	34.6	子育てや教育などの環境に満足できないから	31.5	買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから	27.2	医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから	23.5	治安や防犯などが心配だから	23.5
理由	割合 (%)																			
通勤や通学に不便だから	34.6																			
子育てや教育などの環境に満足できないから	31.5																			
買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから	27.2																			
医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから	23.5																			
治安や防犯などが心配だから	23.5																			
序	1	1	設定人口		<p>素案では松戸市の人口を取り上げておりますが、ここでも「前期基本計画」において取り上げた人口問題にかかわる計画がどのような結果に至っているのか、そこでの問題が「後期基本計画」にあってどのように検討、解決されるべく計画化されたのか示すべきであると申し上げます。</p>	前期基本計画の設定人口と実績(常住人口)については掲載しており、また、差が小さいことも掲載しています。	無													

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
序	1	2	財政の見通し		財政状況が厳しい状況の中では、今回の提案は夢計画ではないか	財政については、設定人口をもとに納税義務者数を推計し、過去の実績及び今後の経済情勢を考慮して堅実に推計しております。また、事業ごとの計画額については、実施計画に掲載します	無	
序	1	2	財政の見通し		第1節より第5節の実現にはコストがかかると思われる。具体的な予算額をある程度は提示すべきと思う。			
序	1	2	財政の見通し		素案では財政の見通しに触れ、32年度には歳入の増収が見込まれておりますが、生産年齢者の市外への移動が予測されている現状においてこのような見通しが可能かどうか、納得出来る計画を示す必要があると指摘せざるを得ません。			
序	1	3	都市づくりの考え方		確かに大勢の意見を聞き、現在進行中の事業を含めての結果と認識しました。しかしながら、松戸市の地理・歴史をもっと考慮に入れるべきであります。考慮すべき点は①近隣の市町村と地理的に違うので、区画整理して、松戸市全体をアップダウンの無い平地にしないと、この計画は無意味であります。②基本計画は松戸市の生活環境・防災・防犯等の総合的な価値を上昇させ地価に反映させるべきである。③その上で、企業・商店・地域住民等の民間の意見聞くべきであり、今回の素案は誠におそまつである。もっと勉強してください。④何十年前の田園調布、ドバイ、等の模した、飛躍した開発計画を作り、近隣都市を巻き込んで、地図に線引きし、夢に向かって地域・企業・商店の民間活力を引き出し、計画を立て直すべき。⑤そのための、長期プロジェクトを立ち上げてください。	ご意見については、市の認識と異なります。	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
序	2		後期基本計画 推進にあたって 大切にしたいこ と		「後期基本計画」の策定スケジュールが示されておりますが、この中にある「職員インタビュー」、「職員対話会」とはどの範囲の職員にどのようなインタビューをしたのでしょうか。市の職員は計画を策定する事務的な担当者ですが、市民の目で自らの生活に結び付いた問題として計画の策定、評価をする人ばかりではありません。例えば、市民が納めた税金から給料を受けている市民の被雇用者であり、そこで発言されたものがどれだけ有用なものであるか疑わしいと言わざるを得ません。	「職員インタビュー」「職員対話会」は、計画の推進に関わる職員が、まずは計画策定を自分ごととして捉えるために実施しました。	無	
1	2		リーディングプラン		子育て世代が住みたい街にするという、折角そのような問題提起がなされながら、施策の方向性の部分では色々な施策の列挙に陥り、メリハリの利いた重点施策が打ち出されていなかったのは、残念です。市の計画ということで列挙はやむを得ないとしても、それは第2部に譲り、第1部を設けてこれからどのような施策に資源を重点配分するかを示す必要があると思います。	第1章「リーディングプラン」に第3節を追加しました。	有	P.30 (1) 市民自治 検討プロジェクト (2) 魅力ある子育てタウン 創造プロジェクト (3) 確かな学力と豊かな人間性を育む教育 推進プロジェクト (4) 都市計画検討プロジェクト (5) 大規模団地等再生検討プロジェクト (6) 文化の香りのする街 構築プロジェクト (7) 病院再建・再生 プロジェクト (8) 公共施設再編整備 プロジェクト (9) 松戸駅前活性化 プロジェクト (10) 工業団地のあり方 再検討プロジェクト (11) 中小企業支援・商店街活性化 プロジェクト (12) 行財政改革 プロジェクト

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
1	2		リーディングプラン		限られた資源を考えると縮小もしくは効率化せざるを得ない施策も多いと思います。どのような施策がその検討対象になるのか、思い切って打ち出して行くべきだと思います。	実施計画を、選択と集中を明確にした戦略的な計画とし、縮小していく事業も提示していきます。	無	
1	2		リーディングプラン		基本方針の選択と集中を明確にした戦略的な実施計画は賛成です。活性化の“つば”を見極めて、集中的に取り組んでいただきたい。「NPO・市民活動サポートセンター」「シルバー交流センター」「ハローワーク」「子育て支援拠点」等を、「みんなが行きやすいところに」「内容の充実」「もっと周知を」			
1	2	2	住んでいるのが誇らしく思える街	めざしたい未来に到達するための重点施策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松戸市の将来を担う子育て世代の定住を促進するため、子育て支援や教育などの各種施策、安全安心のまちづくりを推進します ・ 高齢者が、住み慣れた街で安心して暮らせるまちづくりを進めます ・ 市立病院と民間医療機関の連携を強め、医療を必要とする人が安心できるまちづくりを進めます ・ 各学校のカリキュラム開発を強力に支援し、「ヤル気になればデキル」から「デキルからヤル気になる」よう学習活動の転換を図ります ・ 警防ネットワークを強化し、犯罪が起きにくいまちづくりを進めます ・ UR都市機構などの公共住宅のあるまちの今後のまちづくりに向けて検討します ・ 公共施設の再編整備に向けて検討します 	何となく松戸の地盤沈下を感じていましたが、それに対して子育て世代が住みたい街にするとの方向性が打ち出されました。これは素晴らしいことだと思います。		無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
1	2	3	みんなの協力で賑わいのある街	めざしたい未来に到達するための重点施策 <ul style="list-style-type: none"> 市内の交通結節点である主要駅を中心に、民間活力を活かした魅力アップを図り、市内からも市外からも購買力のある人々が集まる賑わいを創造します 地元商店街が地域のまちづくりの一翼を担うよう商店街の活性化を図ります 松戸駅の改造をきっかけとした松戸駅周辺の活性化を促進します 現在の社会経済環境に適合した工業団地のあり方を検討します 	コミュニティFMとふるさとショップの開設を提案します。	実施計画の策定、あるいは、事業展開のなかで、参考にさせていただきます。	無	
2	1	1	市民と行政の協働を推進します	「松戸市協働のまちづくり条例」に基づき、市民活動の活性化の支援と協働の推進を行います。 市民活動を始めたい人が、すぐに始めることの出来るように情報発信や相談などのコーディネート機能を高めたり、市民活動団体の組織や事業を支援できるような体制づくりを進めます。	税金を効果的に使って施策を展開して行くためには、住民パワーの引出し方を大幅に変える必要があると思います。協働のテーマを決める際にNPOなどからの提案を待つのではなく、行政の目的に沿ったNPOを行政のリーダーシップによって組織して行くような考え方が望まれます。	まちづくりの方向性など、行政情報を積極的に発信していきます。事業展開の参考にさせていただきます。	無	
2	1	1	市民と行政の協働を推進します	また、町会・自治会のコミュニティ活動を支援するため、その拠点となる集会所や、連絡機能としての掲示板についての設置等の支援を行います。	町会会館の建設にあたり市所有の遊休地について法規制の一部解除または地域の見直し有効活用をお願いしたい。	事業展開の参考にさせていただきます	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	1	1	市民と行政の協働を推進します	また、市民センターが、地域活動の核としての機能を維持できるよう、施設活用の適正化を図ります。	地域で活動しているグループで、市民センターで子ども達と料理会をしました。まだ調理室が残ってよかったけれど、道具や食器があまりにも少なく、古くて、料理の先生も私たちも大変でした。この状況からは大切にされているとは感じられない。「使いよくしましたからからどどん利用して下さい。」というくらいになってほしいのに。現実には食器が少ないので紙皿と紙コップを毎回用意しなくてはならず、お金もかかるし、ゴミもたくさんでて、エコに反していてジレンマでした。子ども達への食育の大切さをいうんだったら、子ども達と一緒に料理ができる場所を減らしてしまったのはどうしてだろうか？子ども達の料理会ひとつをするなかでも、環境教育もできるし、健康と食事の食育もできるし、世代交流や地域の伝統の学習もできるのに。その施設や道具からその精神が感じられません。それぞれの行政部署がどこかでつながりあっていること、行政さんの横のつながりができて初めて、本当の意味で市民と行政の協働が始まっていくのではないかなと思います。何だか部署ごと、分野ごとに同じようなことを言っているもんだか、つながりがない印象を受けてしまったのです。	予算の範囲内において整備していきます。	無	
2	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようになります	児童生徒の社会的自立に向けて、実態把握と課題分析を重視するとともに、効果的な指導や創意工夫を活かした学校の多様な取り組みを支援していきます。	中学校の部活動支援策として、この計画を具体化する際には是非施策として取り入れていただきたく思う。教員の異動や退職等により、指導が困難となった部活動の休部や廃部こそ、子どもたちのスポーツをする環境を奪う大きな要因となりえるはずである。財政状況が逼迫する中、成果が見えにくく、価値観が多様な教育施策に大きな投資を行う自治体は少ないと思うが、だからこそ長期的で大きな投資を行っていただきたい。	中学校の部活動支援策も含め学校の多様な取り組みに、限りある予算を長期的な計画に基づき効果的に投資していきます。	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験をえられるようになります		伝統文化などの教育については、各学校の特色を出すための自由な使途可能な予算措置を今以上に行い、学校管理職による経営力に委ねてみてはいかがでしょうか？学校現場が、多忙を極めることは周知の事実だと思うが、その原因として教育長、市長の効果の現れない気まぐれ施策が少なからずあると思われる。学校の自由度を広くとる姿勢を市教委が取らなければいけないのではないかと。	ご意見として承りました	無	
2	3	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようになります		生涯学習のための施策をしていくような内容が記載されていたが、積極的に市政に参加する住民しかその対象ではなく、私のようにそんな面倒くさいものに参加したくない住民の方が多いはずなのに、無駄な市費を投資するのは理解が得られにくい。全くやらないのも理解が得られないことかと思うので、適度をお願いします。	ご意見として承りました	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	4	5	犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくれます	<p>【松戸市の良さ・強み】</p> <p>【市民の役割】</p> <p>・市民一人ひとりが、悪質商法などの犯罪手口の情報に敏感になるなどして、消費者トラブルに巻き込まれないようにします。</p> <p>【行政の役割】</p>	<p>市民が商品や家屋リフォーム、さらに家族を装う金銭略奪などあらゆる詐欺問題、インターネットを介しての様々な、そして次々と巧妙になっていく悪質商法等から身を守ることで市民が住む松戸市をイメージしたいです。</p> <p>次の項目を提案させていただきます。①松戸市は全国一「消費者が被害を受けない体制と市民感覚」をもっています。②松戸市民が消費者被害に合わない生活環境をめざし自ら学習し、また市民どうし・事業者・行政と連携します。③様々な消費者被害から身を守ることができるように、あらゆる年齢層が消費者教育を受けることができる環境をつくれます。④市民はその他の消費者関連の様々な課題を学ぶ姿勢を培い、多くの市民と楽しく連携できることをめざします。⑤消費者関連の行政施策を市民と連携しさらに充実させます。</p>	<p>ご提言を受けて、必要な箇所を追加・修正いたします。</p>	有	<p>P.91 【松戸市の良さ・強み】</p> <p>・消費者団体と行政の連携により、消費者啓発事業を協働で行う体制ができています。</p> <p>P.92 【市民の役割】</p> <p>・市民一人ひとりが、悪質商法などの犯罪手口の情報に敏感になるなどして、消費者トラブルに巻き込まれないようにします。</p> <p>・市民一人ひとりが、消費者トラブルに合わない生活環境をめざし、自ら学習するとともに、市民同士、事業者、行政と連携するようにします。</p> <p>P.92 【行政の役割】</p> <p>・市民が自ら消費者トラブルから身を守るできるように、被害にたいやすい人が消費者教育を受けられる環境をつくれます。</p> <p>・市民が消費者トラブルに巻き込まれたときは、必要な助言・斡旋等を行います。</p> <p>・消費者団体、消費生活モニターとの連携を深め、市民と連携した施策を推進します。</p>

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	5	4	誰もが安心してスムーズに移動できるようにします	バスについては、回転所の確保や路線変更の協議など、バス事業者への支援や関係機関への働きかけ、市民への情報提供など、生活の足となるバス路線の確保、維持等に向けた取り組みを行っていきます。	<p>松戸の交通について考えてほしいと思います。私は北小金駅から徒歩15分位の小金上総町に住んでいます。2年ほど前に北小金から最寄りのバス停「下町」を通るバスが廃止になり、本当に困りました。ところが「貝の花循環」というバス便ができて、本当に助かりました。多くの方が利用していても混んでいます。生活の質を上げるのに交通の便は必須です。松戸の移動手段としてクルマに乗れない人、乗らない人(約30%いると言われています)のために生活するための移動手段として、まずは路線バスやコミュニティバスを増やす施策を早急に計画に盛り込んでほしいです。現状への対処療法としては公共施設をもっと活用してもらい、利用し易くするバスを走らせてほしいです。長期計画のなかに公共施設を作る場合は必ず交通手段とセットで計画してほしいです。</p>	<p>本市の場合、近隣の市と比較して充実した鉄道・バス路線が既に形成されており、新たにコミュニティバスを導入して期待する交通利便性は、現行の鉄道・バス路線によって確保されています。</p> <p>このような状況を踏まえ、財政負担をしてコミュニティバスを導入した場合、既存の路線バスとの住み分けが難しく、サービスの重複を招くことになり、ひいては既存の路線バスの輸送力低下につながることも懸念されます。</p> <p>したがって、コミュニティバスを導入する考えはございませんが、現行の鉄道・路線バスの維持を基本に、バス需要の動向を見極めながらバス路線の確保を目指してまいります。</p> <p>また、公共施設へのバスアクセスにつきましても重要視しており、計画段階からバス事業者や関係機関と協議を行い、対応に努めています。</p>	無	
2	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います		<p>タウンミーティングなどを行うのもいいが、周知のことかと思うが、そのようなものに参加する人は時間に余裕のある人かイベント事が好きな常連客で、本当に見るべき住民は、土日も休まず働き市民税を納めている人の意見ではないのか。どのようにしたらそんな人の意見を聞けるのか今一度考えていただきたい。</p>	ご意見として承りました	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います		このたびのタウンミーティングについて、資料には「目的」として「・・・市民の皆さま同士で話し合いを行い、・・・」とありましたが、話し合いの時間は30分に満たないもので話し合いとは到底言えないものでした。第1部の素案に関する説明の時間を削って話し合いの時間を確保してほしいというのが私の感想です。ご説明いただいたことは配付されたところに記載がありますし、「広報まつど 特集号」で相当部分理解しておりましたので。	限られた時間の中での配分として、設定させていただきました。今後の参考にさせていただきます。	無	
2	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います		市民の声を聞くときには必ず若者・子育て世代の方を入れてください。(人数割合を設定したり、出前で聞きに行く等の工夫も是非！)	事業展開の参考にさせていただきます	無	
2	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います		広報、アピールを工夫していただきたいです。キャッチコピー、タイトル、サブタイトル、キーワード等印象に残る表現が欲しい。また、今後メディアの効果的利用なども。			
2	6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います		横断的プランを！市民は縦割り行政に歯がゆさを感じています。			
2	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します。	また、公会計による財務4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)の整備を進め、市の財産の現状を広く公開していきます。	都市経営の視点に立った行財政運営とあるが、市の財産をいまだ公正な価値で判断していない。公会計改革による貸借対照表とあるが、すべての資産を公正な価値で評価する基準モデルをなぜ、松戸市は採用しなかったのか？	事業展開の参考にさせていただきます	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します。	本計画の計画期間である平成32年度以降には、人口急増期に建設した公共施設が、次々に50年以上を経過することから、適切な維持管理により延命化を図りつつ、今後の市民ニーズの変化も見越した中で、市民意見を聴きながら、公共施設の再編に向けたプランづくりを行います。	社会資本の更新時期の到来とあるが、早くインフラ資産を調査し、今後の想定費用を公開すべきである。更新費用を公開している市もある。	事業展開の参考にさせていただきます	無	
2	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します。		公共施設の再編整備に向けて検討しますとあるが、他市においては、公会計による財務書類だけでなく、アニュアルレポートや施設白書などにより具体的に検討している。早めにこのような情報を提供すべきである。			
2	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します。		本当の意味での都市経営に立った行財政運営を行い、基本計画が実現できればいいと思います。そのためには以下のことが必要と感じます。①財産や負債の状況の把握(財務書類・施設白書の整備)②事務事業評価の充実(事業仕分け・減価償却費や退職金などのフルコストによる評価)③適正な受益者負担(フルコストにより算定すべき)※少子高齢化で税収の伸びも期待できず、社会保障費は増加し、下水道や道路のインフラ整備費がかかり、施設が老朽化し、そのような状況で、このような計画が本当にできるのでしょうか？	事業展開の参考にさせていただきます	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
2	6	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	耐震性が不足している公共施設については、「松戸市立小学校及び中学校施設等耐震改修基金」などの有効活用を図り、計画的な修繕・耐震化を進めていきます。本計画の計画期間である平成32年度以降には、人口急増期に建設した公共施設が、次々に50年以上を経過することから、適切な維持管理により延命化を図りつつ、今後の市民ニーズの変化も見越した中で、市民意見を聴きながら、公共施設の再編に向けたプランづくりを行います。	私は総合計画の中に、公共施設とそこで働く職員・準職員を増やすこと(これが市の財産だと思っています)を具体的に書いてほしいと思いました。松戸は46万都市なのに図書館も児童館も公民館も少なく、小学校も建て替えやリフォームが進んでいません。オープン教室の小学校が一校もないなんて情けないです。未来の価値ある公共の財産が少なすぎる。多世代が交流したり、自由に使えるフリースペースもありません。地域の活性化なんて言葉だけでなく、そういう場所を地域ごとにより、職員を置き、地域で働ける雇用の場所を作ってほしいです。まず、地区の市民センターをもっと市民の立場で使い易い場所にして下さい。市のはずれにある活動サポートセンターはもっと便利な場所に移すか、地域ごとに分室を作って下さい。そういう場所が増えれば、子育て世代の女性や若者の能力活用でき、就労場所を増やすことができます。シルバー人材センターをもっと活発に機能させてほしいです。職業訓練・講座・相談窓口を充実しても働きたい場所がないのが一番の問題です。起業の支援も唱ってありましたが、それに本腰を入れるのは大変です。地域の助け合いの仕事の仕組み(無償でなく、有償)を行政も関わって作ってほしいです。	公共施設についてですが、市立の図書館としては本館1箇所、分館19箇所があります。児童館については、1箇所ですが、こども館2箇所、地域子育て支援センター4箇所、おやこDE広場12箇所(6月4日現在)を整備しています。公民館の場所の提供については、17箇所の市民センターが代替するという考え方をとっています。また、小中学校については、まずは耐震改修を最優先課題として取り組んでいます。しかしながら、課題もあることから、公共施設の再編に向けたプランづくりの中で、より市民の使い易い公共施設となるように進めていきます。また、公共施設の管理や事業を担当する職員数については、「多すぎる」「民間に委ねるべき」というご意見もあることから、施設の設置目的に合わせて適正な人員配置となるようにしていきます。また、その他のご意見につきましては、事業展開の中で参考にさせていただきます。	無	
3	1		多様な担い手による計画の推進	本計画の策定にあたっては、できるだけ多くの市民や職員との対話を基盤にしましたが、計画の推進にあたっては、市民と職員、市民同士など様々な対話が始まるよう促進し、計画の推進を担う様々な主体の想いを一つにして行動していきます。	総合計画には施策の計画だけでなく行政手法の改革も取り上げるべきだと思います。例えば実施計画や個別政策の立案過程での住民参加の方法は、現状では形式に流れがちです。それは住民が要望を出すだけで行政の悩みを共有しないためです。「行政とともに考える住民」を育てる必要があるのではないのでしょうか。例えば「資源配分を考える委員会」のような行政組織を住民参加で作ることが考えられます。	本計画の策定にあたっては、できるだけ多くの市民や職員との対話を基盤にしてきました。事業展開にあたっては、同様の考え方で推進していきます	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
3	3		計画の評価の仕組み		素案には「前期基本計画」成果および課題に触れておりません。「現況と課題」と表示した項目において取り上げているとも思われますが、「前期基本計画」において第何次の計画においてどのような計画をしたのかわからないので「前期基本計画」と「後期基本計画」との継続性、相互関係についての検討が困難であると思われます。現況が「前期基本計画」の予測しないところのものなのか、課題が「前期基本計画」の不備によるものであるのかの究明が必要と考えます。	基本構想に示す将来像等の達成に向けて、前期基本計画を推進してきましたが、その結果として、【現況と課題】があると認識しています。前期基本計画は今年度で終了しますので、本格的な評価は来年度、実施します。	無	
3	3		計画の評価の仕組み		前期基本計画の総括をしっかりしてほしいと期待します。達成値とかをどのように計算し、評価するのかオープンにし、誠意あるものであってほしいと思っています。			
			その他	そこで、本市のまちづくりを行うにあたり、次の3つを基本理念とします。 1 人権が尊重されすべての人が安心して暮らせるまち 2 快適な環境の中で人と人が支え合う地域社会のあるまち 3 地球にやさしい市民の交流を支える活力と魅力あるまち	基本理念の最初の言葉に「人権が尊重され～」とあり、驚いてしまいました。行政の方が市民の立場に立って、市民目線で仕事をしていてくれるという印象を受けることがとっても少ないです。市民の人権を尊重してくれていると感じられる職員は少ないと思っています。自分たちが大事にされているという安心が松戸市を好きになる大事な要件です。私はせめて松戸の子ども達にそう感じる地域、松戸市であってほしいと思います。言葉で「子ども達を大事にします。子育て支援を最優先します。」なんて言っても「態度に示そうよ」「そこにお金を使おうよ」と言いたいです。	事業展開のなかで、参考にさせていただきます。	無	
			その他		タウンミーティングが4カ所で開催されたことは評価します。参加者が少なかったこと、年代が偏っていたこと等は正を次回、期待します。	今後の参考にいたします。	無	

電子メールなどによる意見への対応について

章	節	項	項名	素案(平成22年4月16日)の表記	意見	回答	修正	パブリックコメント案の表現
			その他		<p>進め方については関心が高い分野に分かれてのグループ討議はよかったが、市の職員がその討議の場に参加しなかったのは市民との対話の精神から外れていて、納得できない。一方的な長い説明(すぐには消化できない)の後、「グループに分かれて参加者同士、意見交換して下さい。私たち職員がいては話しにくいから市民同士で意見交換して下さい。」と突き放された感じを受けた。意見交換といっても全く初めて会った方とそんなに深い議論ができるはずはない。それより、説明のなかで疑問をもったり、分からないことをテーマごとのグループで職員から聞いたり、職員と意見交換した方が有意義で参加者にとって満足感があると思った。めんどくさいことを避けて、市民の声を聞きましたという形だけとったのではないかと勘ぐってしまうやり方だと思った。</p>	<p>市職員が参加してしまうと、市民の方のご質問、ご意見にお答えするだけで終わってしまい、意見がまとめでくいという判断により参加しませんでした。ご指摘のことも踏まえて、今後の参考にいたします。</p>	無	